第 71 回長崎大学 FD 実施報告書

平成 24 年 1 月 6 日 提出

1. 題目	戦略ＧＰ公開シンポジウム 「長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組成果と今後について」
2. 開催日時・場所	日時：平成 23 年 12 月 13 日（火）13:30 ～16:00 場所：長崎大学中部講堂
3. 主催	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム （長崎大学・長崎県立大学・長崎国際大学・長崎県薬剤師会・ 長崎県病院薬剤師会・長崎県看護協会・長崎県医師会・長崎県）
4. 参加者数 (別紙に参加者名簿を添付すること)	参加総数：164 名 FD 受講希望者数：17 名
5. 長崎大学 FD に関する指針第二項への該当について 【複数選択可】	該当するものに○を記入すること [　　] (1)　教員の教育活動に関するもの [　　] (2)　カリキュラムの改善に関するもの [　○　] (3)　教育の組織的改善に関するもの [　○　] (4)　その他教育改善に関するもの
6. 今回の FD の主旨・意義 (5.に関連した形で記述すること)	平成 21 年度より、長崎県内で薬剤師と看護職の養成課程を持つ国公私立 3 大学（長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学）は、関係自治体等（長崎県薬剤師会，長崎県病院薬剤師会，長崎県看護協会，長崎県医師会及び長崎県）と長崎薬学・看護学連合コンソーシアムを組織し、大学連携支援プログラム（戦略 GP）による薬学と看護学の実践型統合教育プロジェクトを展開している。本戦略 GP は、文部科学省が大学教育充実のための戦略的大学連携の取組を支援するプログラムで、「在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成の拠点形成」を目的とし、共同授業の実施、在宅医療や福祉の合同実習、現職者への生涯学習支援を行ってきた。今回、本コンソーシアムでは、平成 23 年度が戦略 GP の最終年度にあたることもあり、これまで取組んできた大学間連携による教育の組織的改善と大学の地域社会への貢献に関する内容を報告することとした。本報告会では、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長を招聘し、社会の中で大学が担うべき役割や戦略的大学連携の今後の方向性についてご講演いただくとともに、戦略 GP の成果報告とパネルディスカッションを通して、参加者との意見交換を行う計画である。本報告会の内容は、新たな教育プログラムの開発や本学教員の今後の教育研究活動の改善に資するものと期待される。
7. プログラム構成 [題目・担当講師]	題目：「長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組成果と今後について」 担当講師：片峰　茂　（長崎大学学長）

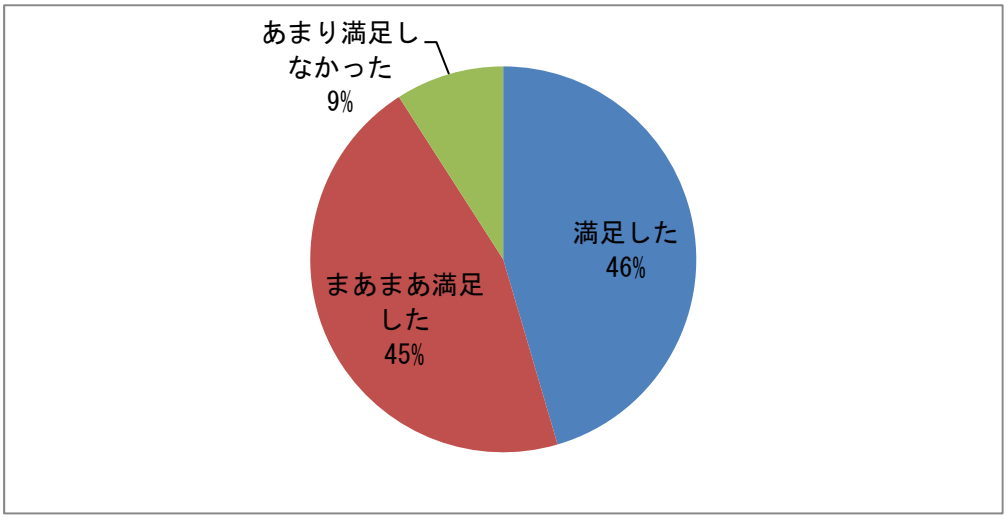
(当日使用した資料等を添付すること)	太田 博道（長崎県立大学学長） 潮谷 義子（長崎国際大学学長） 樋口　聰　（文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長） 中嶋 幹郎（長崎大学薬学部教授） 松坂 誠應（長崎大学医学部教授） 松本 幸子（長崎県立大学看護栄養学部教授） 榊原 隆三（長崎国際大学薬学部教授） ＊プログラム順に記載
8. 実施した FD の成果等 (アンケート等の資料がある場合は添付すること)	別紙アンケート結果参照
9. 実施代表者の連絡先	氏名：中嶋 幹郎 部局：薬学部 e-mail：mikirou@net.nagasaki-u.ac.jp　　内線：2459
10. 申請者の連絡先	氏名：坂本 仁美 部局：薬学部 e-mail：　hitomi-s@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2460

第 71 回長崎大学 FD「戦略 GP 公開シンポジウム」アンケート結果

回答数：11（回答率：64%）

Q1.全般的に見て今回の FD の内容に満足しましたか？

満足した	まあまあ満足した	あまり満足しなかった	満足しなかった
5	5	1	0



Q2.今回の FD について印象に残った点、良かった点をお書きください。

- 私立、公立、国立という様々な大学が手を結び、異なる学部から参加した多数の学生がお互いに良い刺激を受けながら、在宅医療を中心とした特定の分野に関して共同で学習しているという現状を聞いて、大変感銘を受けるとともに今後の彼ら、彼女らの活躍に大いに期待しています。
- 長崎と佐世保を含む各地で開催された講演会等の行事や体験学習について、それらの概要をまとめた内容であったので全体像を把握することができた。参加大学の学長のメッセージや文部科学省の担当者の話を聞くことができた点も良かった。
- 地域医療に大学連携による看護師・薬剤師が関与する大事さが分かった。このような規模の戦略は 3 年間のみでなく、永続的に行うことが重要と思われた。
- 文部科学省高等教区局の担当官の話を直接聞くことにより、全国の様子や国全体の動きの中での本県の取組について理解が出来た。
- 3 大学の学長からのコメントを聞くことで今後の教育の在り方についての視点を発展させることができた。

No. 0

受　講　証　明　書

〇〇〇〇
　〇〇　〇〇　殿

　下記のとおり 71 回長崎大学ファカルティ・ディベロップメントを受講したことを証明します。

記

日　時　平成 23 年 12 月 13 日（火）
テーマ　戦略ＧＰ公開シンポジウム
「長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組成果と今後について」

平成　　年　　月　　日
長崎大学大学教育機能開発センター長
橋　本　　健　夫

第71回長崎大学FD「戦略GP公開シンポジウム」

日　時：平成23年12月13日（火）13:30～16:00
場　所：中部講堂（文教キャンパス）
受講証対象者：17名（参加者164名）

No.	氏　　名	所　　属	職　　名	備　　考
1	澤井　照光	医歯薬学総合研究科（医）	准教授	
2	中村　英樹	医歯薬学総合研究科（医）	助教	
3	中里　未央	医歯薬学総合研究科（医）	助教	
4	藤崎　郁	医歯薬学総合研究科（保）	教授	
5	大町　いづみ	医歯薬学総合研究科（保）	講師	
6	黒田　裕美	医歯薬学総合研究科（保）	助教	
7	横尾　誠一	医歯薬学総合研究科（保）	助教	
8	新田　章子	医歯薬学総合研究科（保）	助教	
9	塚元　和弘	医歯薬学総合研究科（薬）	教授	
10	麓　伸太郎	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
11	和田　光弘	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
12	田中　隆	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
13	山田　耕史	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
14	原武　衛	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
15	手嶋　無限	医歯薬学総合研究科（薬）	准教授	
16	稲嶺　達夫	医歯薬学総合研究科（薬）	助教	
17	池田　理恵	医歯薬学総合研究科（薬）	助教	